

114
A4590



日本 皇帝陛下ノ特命全權公使青木周藏
君ト獨ニ聯邦ベルリン府人パウエルマ
君ト取結條約左ノ如シ

第一條

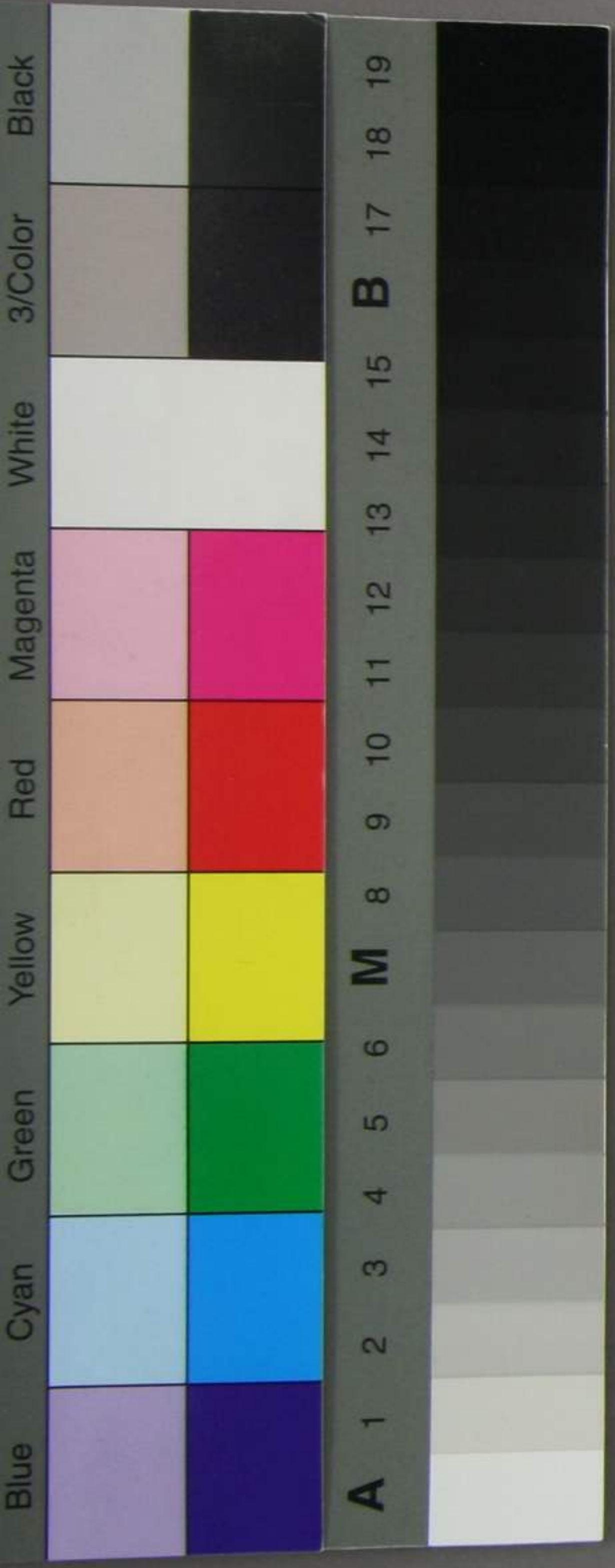
パウエルマ君ハ日本首府東京醫學
校ノ獨ニ及羅甸學ノ教師トシテ千八百
七十五年十月同地ニ向テ出程スベシ

第二條

同君エ日本政府ヨリ旅費トシテ六百五
拾山普魯士通貨即八百六十六ターレル
ニ拾レルベルグローセン獨ニ國程前ニ相
渡スヘキ事

第三條

大正十一年四月
隈侯爵邸寄



日本政府ニ於テ同君^君東京到着ノ日ヨリ算シ月々二百五十四則^君予貸貨三百三十三ターレル拾^君レルコロセンノ給料ヲ貸幣或ハ一般通用ノ楮幣ヲ以テ時ノ相場ニ順シ毎月末ニ相渡シ并ニ空官宅一字貸渡ス可シ修繕ヲ要スルハ学校ニ於テ修理ヲ加フヘシ其他前金貳百圓ヲ貸渡ス可シ右ハ各月給料ノ中ヨリ五拾圓宛引去リ初年四ヶ月ハ各月貳百圓ヲ相渡ス可シ

第四條

此ノ條約ハ同君東京着日ヨリ向ニケ年ヲ以テ期限トス尤日本政府ニ於テ

延期ヲ欲スル時ハ滿期三ヶ月前ニ示談スヘシ

第五條

日本政府ニ於テハ期限中ト雖モ解約スルノ權アリ此時ニハ前月々給ノ外其翌月ヨリ後ヲ三ヶ月分^{給料}并ニ東京ヨリベルリン府迄ノ歸程旅費連ニ相渡ス可シ滿期ノ後^{給料}并ニ片モ向^{給料}標ニシテ歸程旅費ハ第二條ニ準シ相渡ス可シ但シ此ノ條約滿期ノ後^{給料}日本政府ヲ除クノ外他人ニ雇ハレ日本國內ニ占居アルニ於テハ歸程旅費相渡

政府ニ於テ同君東京到着ノ日
算シ月々二百五十圓則テ字貨三百
三ターレル拾ニルベルコロセンノ給料ヲ貸
以ハ一般通用ノ楮幣ヲ以テ時ノ相
順ニ毎月末ニ相渡シ并ニ空官
字貨渡ス可シ修繕ヲ要スル内
校ニ於テ修理ヲ加フヘシ其他前
見百圓ヲ貸渡ス可シ右ハ各月給
中ヨリ五拾圓宛引去リ初年
月ハ各月貳百圓ヲ相渡ス可シ

第四條

條約ハ同君東京着日ヨリ向ニケ
以テ期限トス尤日本政府ニ於テ

期ヲ欲スル時ハ滿期三ヶ月前ニ示

第五條

政府ニ於テハ期限中ト雖モ解約
ノ權アリ此時ニハ前月々給ノ外
三月ヨリ後々三ヶ月分ノ給料并ニ
東京ヨリベルリン府迄ノ歸程旅費連
渡ス可シ滿期ノ後々登程スル内
様ニシテ歸程旅費ハ第二條ニ
相渡ス可シ
但シ此ノ條約滿期ノ後々日本政府
ヲ除クノ外他人ニ雇ハレ日本國內
ニ占居アルニ於テハ歸程旅費相渡

明治九年一月十二日

サ、ル事

第六條

曰君ヨリ解約ヲ乞フノ權アリ此時ニハ其ノ許可ヲ受ル當日後ノ給料并ニ歸程旅費共ニ相渡サス且ツ曰君其職務ヲ怠リ或ハ高業ヲ營シ國事ニ関スル等ノ如キ條約面ニ背スル所行有リテ公裁ノ末其任ニ不當ノ過失アルハ是亦同様不相渡ヘシ尤同君身軀ニ事故アリテ五十日以上勤務セズ將ヘルリン府ニ歸國スルハ歸程旅費ノミヲ渡シテ解約スヘシ

第七條

前ニ定ムル所ノ給料ノ外日本政府ニ於テ隱居料又ハ寡婦養育料等相渡サ、ル事

第八條

曰君教授時限ハ日本政府ノ制ニ定セル學制ニ從フヘシ尤モ各日五時面ヲ踰ヘカラス
以上掲載セル件々ノ外別ニ約スヘキ箇條ナシ因テ爰ニ日本政府ノ代理ハハツルマエツト君ノ日本ニ於テ日本官員ノ厚遇ヲ受ケルヲ保証シ又同君ハ信義ヲ以テ其職務ニ盡カアルヲ保証スコレニ因テ條約ニ通ツ製シ約者互方其名ヲ

手記之一通ヲ受領スル者也

伯靈

千八百七十五年七月廿三日

青木周藏

ハウルクマエツト